

計算書類に対する注記（法人全体用）

8. 担保に供している資産

・該当なし

9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産・建物	205,865,672	31,842,544	174,023,128
建物	3,945,000	2,412,203	1,532,797
構築物	13,946,710	4,603,713	9,342,997
機械及び装置	5,188,050	5,188,048	2
車輛運搬具	10,896,073	6,653,266	4,242,807
器具及び備品	6,982,778	4,280,513	2,702,265
権利	406,000	43,069	362,931
その他固定資産	46,790		46,790
合計	247,277,073	55,023,356	192,253,717

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	14,343,135		14,343,135
未収補助金	243,000		243,000
合計	14,586,135	0	14,586,135

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

・該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

・該当なし

13. 重要な偶発債務

・該当なし

14. 重要な後発事象

・該当なし

15. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産の増減の状況並びに資産、負債及び

純資産の状態を明らかにするために必要な事項

・該当なし

計算書類に対する注記（ゆうかり作業所拠点区分用）

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法 該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

・有形固定資産

平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法によっている。

平成19年4月1日以降に取得したものについては定額法によっている。

・リース資産 該当なし

(3) 引当金の計上基準 該当なし

2. 法人で採用する退職給付制度

退職給付制度は独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度によっている

3. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

(1) ゆうかり作業所拠点計算書類(会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)

(2) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(㊸))は省略している。

(3) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(㊹))

ア. 就労継続支援B型ゆうかり作業所

イ. 法人本部

4. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産・建物	14,742,700	0	1,081,994	13,660,706
合計	14,742,700	0	1,081,994	13,660,706

5. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

・該当なし

6. 担保に供している資産

・該当なし

7. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産・建物	37,158,498	23,497,792	13,660,706
建物	3,945,000	2,412,203	1,532,797
構築物	3,864,314	3,864,310	4
機械及び装置	5,188,050	5,188,048	2
車輛運搬具	7,315,773	5,944,185	1,371,588
器具及び備品	4,387,658	3,893,313	494,345
その他固定資産	46,790		46,790
合計	61,906,083	44,799,851	17,106,232

計算書類に対する注記（ゆうかり作業所拠点区分用）

8. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

（単位：円）

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	7,783,685		7,783,685
未収補助金	63,000		63,000
合 計	7,846,685	0	7,846,685

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

・該当なし

10. 重要な後発事象

・該当なし

11. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産の増減の状況並びに資産、負債及び

純資産の状態を明らかにするために必要な事項

・該当なし

計算書類に対する注記（グループホームふれんど拠点区分用）

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法 該当なし
- (2) 固定資産の減価償却の方法
- ・有形固定資産 定額法
 - ・リース資産 該当なし
- (3) 引当金の計上基準 該当なし

2. 法人で採用する退職給付制度

退職給付制度は独立行政法人福祉医療機構の社会福祉施設職員等退職手当共済制度によっている

3. 拠点が作成する計算書類とサービス区分

当拠点区分において作成する計算書類は以下のとおりになっている。

- (1) グループホームふれんど拠点計算書類(会計基準省令第一号第四様式、第二号第四様式、第三号第四様式)
- (2) 拠点区分資金収支明細書(別紙3(⑩))は省略している。
- (3) 拠点区分事業活動明細書(別紙3(⑪))
- ア. 共同生活援助グループホームふれんど
 - イ. 短所入所 ショートステイふれんど

4. 基本財産の増減の内容及び金額

基本財産の増減の内容及び金額は以下のとおりである。

(単位：円)

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産・建物	87,696,996	80,006,606	7,341,180	160,362,422
合計	87,696,996	80,006,606	7,341,180	160,362,422

5. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し

- ・該当なし

6. 担保に供している資産

- ・該当なし

7. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
基本財産・建物	168,707,174	8,344,752	160,362,422
構築物	10,082,396	739,403	9,342,993
車輛運搬具	3,580,300	709,081	2,871,219
器具及び備品	2,595,120	387,200	2,207,920
建設仮勘定	0		0
権利	406,000	43,069	362,931
合計	185,370,990	10,223,505	175,147,485

8. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は以下のとおりである。

計算書類に対する注記（グループホームふれんど拠点区分用）

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	6,559,450		6,559,450
未収補助金	180,000		180,000
合 計	6,739,450	0	6,739,450

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

- ・該当なし

10. 重要な後発事象

- ・該当なし

11. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産の増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

- ・該当なし